

# 国産繭・生糸のサポーター制度の創設について

## ―通称“国産繭・生糸応援団”―

古代から日本の伝統・文化とともに歩んで来た我が国の蚕糸業は、現在、存亡の危機に直面しています。このため、できるだけ多くの方々に蚕糸業の歴史や現状を学ぶことを通じて、国産の繭・生糸の歴史的・文化的な価値を認識していただき、引き続き、我が国の蚕糸業が産業として存続していくことの重要性を理解していただきたいと思います。

### 1. 趣旨

国産の繭・生糸に対する思いを同じくする「国産繭・生糸サポーター」（以下「サポーター」という。）の情報ネットワークを構築して、国産繭・生糸に関わる様々な情報の発信、共有を行うことにより、国産繭・生糸に対する理解が深まり、また、国産繭・生糸に関する様々なイベントが開催されること等を通して、日本の蚕糸業に対する支援の輪が広がることを目指します。

### 2. 具体的な活動内容

当面、以下のような活動を行い、将来的にはさらに発展した活動ができるよう検討していきます。

- (1) 大日本蚕糸会からサポーターに対して以下のような情報をお送りします。
  - ・「蚕糸の日」のイベントや講演会等の情報
  - ・蚕糸関連のWEB記事情報
  - ・シルクレポートや統計データ等
- (2) サポーターの方々の実施するイベント等で上記趣旨に沿うようなものの情報（例えば、蚕糸関係の博物館の企画展、子供たちにカイコに触れてもらうイベント、国産生糸を使用した製品の展示会等）を他のサポーターにお送りします。

### 3. 想定しているサポーター

養蚕農家、製糸業者、絹製品製造・販売業者、蚕糸関係博物館、蚕糸関係の大学・研究機関、工芸作家、蚕糸を核にしてまちづくりを行っている地方自治体・NPO法人、消費者団体、「カイコを育てよう！キャンペーン」参加者、蚕糸業に関心のある方等幅広い関係団体・個人を予定しています。

### 4. 留意事項

- (1) サポーターの登録は無料です。
- (2) 登録いただいたサポーターの情報は大日本蚕糸会で適切に管理します。
- (3) サポーター名簿は公表しません。
- (4) 大日本蚕糸会から連絡がない限り、毎年4月に自動的に更新します。更新時に連絡がとれない場合は登録更新しません。
- (5) サポーターの登録中止は申出により随時可能です。
- (6) サポーター登録の改善に資するためアンケート調査をお願いする場合があります。